

【10月15日（火）始業式の話】

前期と後期の区切りを付ける、三連休が終わりました。日本列島は大型で強い台風19号が襲い、各地に大きな被害と傷跡を残しました。この台風の豪雨で、多くの河川で堤防が切れて、川の水があふれました。今朝のニュースでは、死者31名、行方不明者13名と報道されていました。

この台風で、命を落とされた方に、そして行方不明の方が早く見つかри、被害に遭われた方が一日も早く普通の生活に戻れることを願って、黙とうを捧げましょう。背筋を伸ばして、「黙とう」。「直れ」

この台風は、はじめの頃の予想進路は、この愛知県に上陸するコースでした。そのまま来ていたらどんなことになっていたのでしょうか。

この地区にも、木曽・揖斐・長良という三つの大きな川に加えが日光川や領内川もあります。それらの川の堤防が切れて、川の水が氾濫すれば、テレビに映し出されている情景が、まさにそのまま自分たちの目も前に広がることになります。住み慣れた家が、楽しくドライブした車が水に浸かって泥だらけになったり、ランドセルも教科書も流されてしまったり、大切な家族を失ったりしたり。これが皆さんに起こったらどうでしょう。他人ごとだと思わずに、しっかりと想像力を働かせて考えてください。

また、「命を守る行動を」と何度もテレビで流れていました。「命を守る行動」ってどんなことでしょう。先生は、小学生のみんなでもできる「命を守る行動」について考えてみました。

一つは、「人の話をきちんと聞くこと」。緊急事態になったとき、少ないかもしれませんが大切な情報や指示が出ると思います。それをきちんと聞けるか聞けないか。それが命も守るかどうかの分かれ道になると思いました。

二つ目は、「自分勝手な行動をしないこと」。川の水があふれたり、家の道路が親水したりしたのを見に行き、流されたり救助されたりした人もいました。自分勝手な行動をとることが、自分の命を失ったり、無駄に迷惑をかけてしまうこともあります。

三つめは、「人に迷惑をかけないで、我慢する」です。もし、避難所生活などになったとき、多くの方が同じ場所で生活することになります。当然自分の家で自由にしていた時とは違います。そんな時、大きな声を出したり、わがままを言ったりすることは、他の人たちにとても迷惑をかけることになります。

「人の話をきちんと聞く」「自分勝手な行動をしない」「人に迷惑をかけず、我慢もだいじ」。これらの三つのことは、普段から先生に言われていることですね。これらのことが「命を守る行動」に繋がることを意識して、学校生活を送りましょう。

また、ラグビーワールドカップのカナダ代表選手が、台風で試合が中止になったので、台風で被害を受けた釜石市で、ボランティア活動をしていたというニュースも流れました。スポーツを通じて、こんな人のつながりが生まれたことに、とても感動しました。

今当たり前前にできている生活が、当たり前ではないことを自覚し、家族や友だち、今置かれている環境に感謝しながら、今日から後期の生活を頑張っていきましょう。

先ほど認証した後期の児童会役員の皆さん、みなさんがリーダーとなって、この草平小学校をさらに良い学校にしていってほしいと思います。

以上で校長先生のお話を終わります。